

校長室だより

ふるさと大路を愛し 夢を求めて挑戦し続ける 大路っ子プライドの育成
～ふるさと大路の輝く太陽になろう～

丹波市立大路小学校

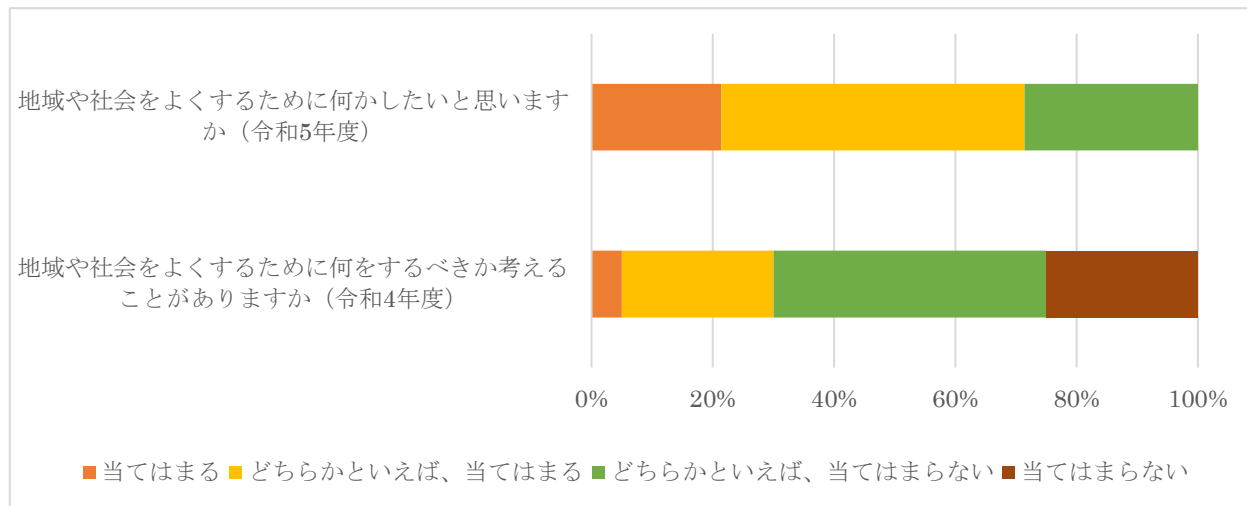


校長通信

令和6年2月号

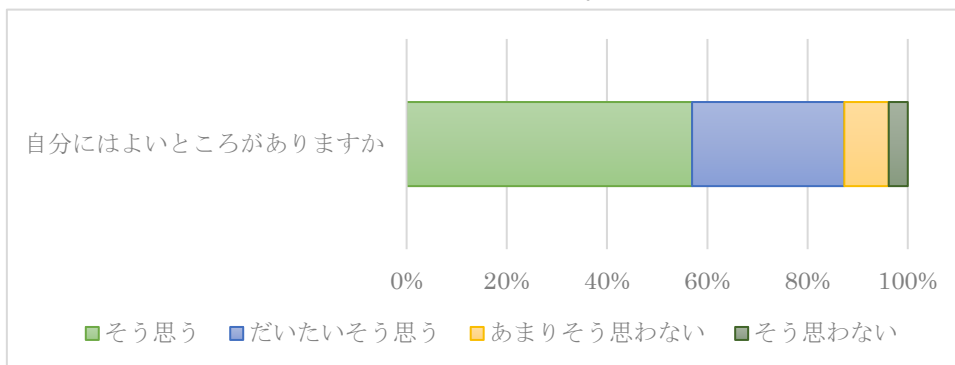
令和5年度を振り返って

昨年度の教育反省の中で、本校の児童が地域行事に積極的に参加し、地域の中で自分たちは守られ安心して学習できると思う一方で、地域社会への関心につながっていないことを課題にしてきました。そして、子どもたちをお客さん扱いしないで、児童一人ひとりが、大路の良さを再認識し、自分なら何が出来るのかを考え、実践していけるかかわり方を試行錯誤していきたいと学校運営協議会でも話題にしました。学校そして家庭、地域の中で「大路っ子プライド」を育てていきたいと実践してきました。



上記のグラフは、全国学力学習状況調査の児童質問紙の中で、地域への関心を問う項目を比較したものです。問い方に違いがあるものの、昨年度と比較して、地域への関心を肯定的に回答した児童がかなり増えたことが分かります。

本年度は、これまで中止になっていた学校行事や地域の行事が復活し、コロナ以前の状況に戻りつつあります。アグリフェスタも4年ぶりに再開され、大路地区の横のつながりが更に太くなりました。このような地域の行事の中で、大路っ子プライドをさらにゆるぎないものにしていきたいと思っています。



左のグラフは、学校評価アンケートで児童の自己肯定感について問う項目です。87%の児童が、肯定的にとらえていますが、このことについては、限りなく

100%に近づけていきたいと思っています。自分を大切に、家族や地域を大切にする子どもたちと一緒に育てていける大路でありたいと思います。

文責 畑中 啓太